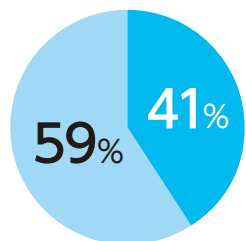


両毛線沿線に住む人に聞きました
ここ1年で鉄道を利用しましたか？



■ 鉄道を利用した
■ 鉄道を利用しなかった

出典:平成27年県パーソナルリブ調査

県による調査の結果、両毛線と上毛線の沿線に住む6割近くの人
は1年で1回も鉄道を利用しない
ことが判明しています。
また、一般的に日常的な活動範
囲と考えられる3^{キロメートル}程度の移動
でも、約85%は自動車を利用。1
00%未満の移動でも4人に1人
が自動車を利用するなど、自動車
に大きく依存していることが分
かっています。さらに、全ての手
段の中から鉄道が選択される割合
は約2割。現状のままでは利用者
はさらに減少することが見込ま
れ、やむなく本数を減らすことや
最悪の場合、鉄道の存続ができな
くなる可能性があります。

自動車に依存していませんか

そこで、県が中心となり鉄道路
線を将来にわたって存続・維持す
るための緊急対策として、利用促
進アクションプログラムを策定し
ました。この計画は、今後3年間
で県内を運行する14の鉄道路線で
順次策定。今回は本市を運行する
両毛線と上毛線が選定されました。

鉄道を存続させるための対策を

これから起こるアクション

同プログラムでは、計画策定後
5年間で、沿線に住む人の鉄道利
用促進を目標に設定。上毛線では、
パークアンドライド駐車場、駅前
広場、アクセス道路を中心に駅周
辺を整備し、自動車と鉄道を使い
やすくつなげます。これは準備が
整った場所から順次取り組んでい
きます。駅周辺の環境がおおむね
整備されている両毛線では、駐車
場情報やバスへの乗り換え情報の発
信など鉄道への乗り換えの抵抗感
を和らげる取り組みを
検討していきます。



詳しくは
こちらから

上毛線整備案

パークアンドライド 駐車場の整備	上泉駅、赤坂駅、 大胡駅～膳駅
駅前広場の整備	上泉駅、赤坂駅、 粕川駅、膳駅
アクセス道路の整備	膳駅
出入り口新設	片貝駅

パークアンドライド…自宅から自家用車で駅に向かい
駐車(パーク)。バスや電車などの公共交通機関に乗り
換え(ライド)目的地へ向かうシステム

Interview



上毛電気鉄道 取締役総務部長
中野良雄さん

昨年度調査によると1日あたり約8,500人の乗降がある上毛線。自転車を生内
に持ち込むことができるサイクルトレイ
ンや沿線の保育所・学校の児童・生徒の
工作による車内の飾り付け、受験シーズ
ンに合わせた合格祈願切符の販売など、
上毛電鉄では皆さんに電車を利用して
もらうための工夫を行っています。

今回のアクションプログラムの策定で

は駅周辺のさらなる整備が期待されま
す。既にパークアンドライドを設置してい
る駅では利用希望者が定員を上回って
いる状況です。整備・設置がされることで
今まで車で移動していた人が電車を利
用しやすくなると考えられます。25km
の間に23駅を構える上毛線。ぜひ利用
してもらい、利便性を再認識してもらえ
ると嬉しいです。

みんなで守る公共交通 そのおでかけ、電車で行ってみませんか？



皆さんは日頃、どのくらい公共
交通機関を利用していますか。本
市では交通手段として自動車を選
択する人が多く、運転免許を持つ
ていない人でも誰かの送迎に頼る
傾向にあるため、公共交通の利用
率は低くなっています。

しかし、超高齢社会を迎えた今、
誰もが自動車に頼らなくても安心
して外出できるようにすることは、
社会が直面する最優先課題の
一つです。特に、市内だけでなく
市外や首都圏への移動を支える鉄
道は、市民にとって維持してい
かなければならない重要な交通手段
といえます。もし、鉄道が維持で
きなくなってしまうたら毎日の通
学や通勤、定期的な通院や買い物
など今まで当たり前に行っていた
日常生活はどうなるのでしょうか。
鉄道がこれまでと変わらずあり続
けるため、私たちができることを
考えます。

図 交通政策課
027・898・6302